

新型コロナウイルス感染症の院内発生について

2022年11月11日（金）時点で、2階障がい者病棟の入院患者様3名及び職員4名、計7名が新型コロナウイルスに感染したことが判明しました。

直ちに札幌市保健所に報告すると共に、現在、感染の範囲を特定するため接触があった患者様及び関係職員にPCR検査を実施しているところです。

今後も経過に応じて必要な検査を行なっていくと共に、更なる感染拡大を防ぐため引き続き感染対策に努めて参ります。

つきましては、次のとおり当面の間、次のとおり診療内容を縮小します。

- 2階障がい者病棟の入院患者新規受入れ休止
- 2階障がい者病棟の面会禁止

※ 緩和ケア病棟の入院診療及び面会は、これまでどおり変わりはありません。

※ 外来診療、健診センターは通常どおり診療を行なっています。

なお、現在入院中の患者様につきましては、感染対策に留意しながら入院診療を継続いたします。

患者様はじめ関係の皆さまにはご心配とご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2022年11月12日

札幌南徳洲会病院
病院長 四十坊 克也

〔お問合せ先〕
事務長・下澤（しもさわ）
メール kazumoto.shimosawa@tokushukai.jp

※ 諸事情をご理解いただきお問合せはなるべくお控えいただくとともに、やむを得ない場合はメールでいただくよう、ご協力をお願いいたします。